大会名称: 平成23年度バスケットボール女子U-24日本代表チーム　第2次強化合宿(オーストラリア遠征)
開催場所: オーストラリア・キャンベラ　AIS
試合区分: No. 203 女子　練習試合　コミッショナー:
期　日: 2011(H23)年6月7日 (火)　主審:
開始時間: 18:00　副審:

U-19オーストラリア	○ 58	17 -1st- 17 14 -2nd- 10 12 -3rd- 15 15 -4th- 9 -OT1- -OT2- -OT3-	● 51	U-24日本 (通算3敗)

U-19オーストラリア代表

No.	S	選手名	PTS	3P FG M	3P FG A	2P FG M	2P FG A	FT M	FT A	PF TF	REBOUNDS OR	REBOUNDS DR	REBOUNDS TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
5	*	Rebecca Cole	4	0	0	1	2	2	4	2	1	3	4	1	2	1	0	31:19
6	*	Kerryn Harrington	5	0	4	1	4	3	3	0	0	5	5	1	0	0	1	30:02
7		Ashleigh Karaitiana	4	0	0	2	3	0	0	2	0	2	2	1	1	0	0	15:48
8		Tessa Lavey	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	9:58
9	*	Rebecca Allen	6	0	1	3	5	0	0	2	1	5	6	4	0	1	1	27:05
10		Jillian Haughton	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	DNP
11	*	Gretel Tippett	10	0	1	4	7	2	2	0	2	5	7	0	1	0	1	28:43
12		Carley Mijovic	3	0	2	1	5	1	2	0	1	4	5	2	0	0	0	12:55
13	*	Tayla Roberts	17	0	0	5	13	7	9	4	4	5	9	3	0	0	1	25:41
14		Rosie Fadljevic	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	DNP
15		Sara Blicavs	9	0	0	4	10	1	1	0	3	2	5	1	0	2	0	18:29
HC		/ TEAM								0	2	3	5	1				
合　計			58	0	8	21	51	16	21	10	14	35	49	14	5	4	4	200:00
				0.0%		41.2%		76.2%										

U-24日本代表

NO.	S	選手名	PTS	3P FG M	3P FG A	2P FG M	2P FG A	FT M	FT A	PF TF	REBOUNDS OR	REBOUNDS DR	REBOUNDS TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
4	*	藤吉 佐緒里	0	0	6	0	2	0	0	2	0	12	12	4	5	3	0	29:03
5	*	冨崎 里奈	22	2	5	8	13	0	0	2	2	3	5	0	1	3	0	35:25
6	*	山田 茉美	7	1	5	2	5	0	0	3	1	1	2	1	0	0	0	24:13
7		田中 真樹	5	1	4	1	1	0	0	0	1	1	2	0	2	0	0	16:17
8	*	森 ムチャ	8	0	0	4	7	0	0	2	0	2	2	2	0	1	0	37:35
9		林 眞未	0	0	4	0	1	0	0	5	0	0	0	0	3	0	0	12:46
10		中畑 恵里	0	0	2	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	6:08
11		牛田 悠理	2	0	2	1	3	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	10:28
12	*	元山 夏菜	7	1	1	1	2	2	2	1	1	1	2	1	0	0	0	17:01
13		濱口 京子	0	0	0	0	3	0	0	2	2	0	2	0	0	0	0	7:00
14		大沼 美咲	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	DNP
15		櫻木 千華	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4:04
HC		小嶋裕二三 / TEAM								0	0	5	5	2				
合　計			51	5	31	17	38	2	2	19	8	26	34	11	13	8	0	200:00
				16.1%		44.7%		100.0%										

PST: ポイント　FG: フィールドゴール　F: ファウル　TO: ターンオーバー　MIN: 出場時間
M: 成功　3P: 3ポイントシュート　OR: オフェンスリバウンド　AS: アシスト　S: スターター
A: 試投　2P: 2ポイントシュート　DR: ディフェンスリバウンド　ST: スティール　OT: 延長
%: シュート率　FT: フリースロー　TOT: トータルリバウンド　BS: ブロックショット

ゲームレポート

第1ピリオド、立ち上がり、日本は相手のスクリーンを多様したモーションオフェンスに対応できず、センター#13Robertsのゴール下を守りきれない。しかし、#5冨崎の3Pシュートで得点を挙げると、続いて#12元山がジャンプシュートを沈め、リズムを掴む。さらには再び#5冨崎のゴール下、#6山田の積極的な攻撃などで得点を伸ばす。だが終盤、オーストラリアU-19は#13Robertsを中心にインサイドプレイで応戦。日本はセンターへのトラップから相手のミスを誘い、そこからブレイクにつなげ、17-17の同点で終了。

第2ピリオド、#4藤吉、#5冨崎、#8森、#9林、#11牛田とメンバーを入れ替えスタートする。第1ピリオド同様、オーストラリアU-19は#13Robertsにボールを集めインサイドで得点する。一方の日本は、インサイドトラップや体を張ったリバウンド、ルーズボール等で、#9林から#12牛田のブレイク、#5冨崎のポストプレイ、フォーメーションから#7田中の3Pシュートと立て続けに得点し、流れを掴む。ここで、オーストラリアU-19がタイムアウト。#12Mijovicをコートに戻し、変わらずインサイドを使って攻撃する。日本もなんとかディフェンスで粘るが、ファウルがかさみ、相手にチャンスを与えてしまう。また、オフェンスも単発に終わってしまうが、終盤#12元山3Pシュートで盛り返し、31-27の4点ビハインドで前半終了。

後半、出だし、日本は相手の#13Robertsを抑えきれず、立て続けにインサイドで得点を許す。しかし簡単には引かず、#5冨崎の連続得点や#8森のジャンプシュートで対抗。オーストラリアU-19も#13Robertsのインサイド攻撃を緩めず、一進一退の攻防が続く。日本はトラップを仕掛けるものの、うまく噛み合わず得点されてしまう。ここで、たまらず日本はタイムアウト。タイムアウト後、#5冨崎の3Pシュート、#15櫻木から#6山田のブレイクで40-40の同点のまま、勝負の最終ピリオドへ。

第4ピリオド、日本はオーストラリアU-19 #13Robertsへのトラップが効き始め、ディフェンスが機能し始める。オフェンスでは、#8森のポストプレイや#7田中のジャンプシュートで、48-47。日本が1点リードしたところで、オーストラリアU-19はタイムアウトを要求。その後、オーストラリアU-19はフルコートの2-2-1 から2-3 のゾーンディフェンスで、日本のミスを誘い、さらには#13Robertsで得点し、反撃開始。追いあげたい日本は相手のゾーンに苦戦しながらも、#6山田の3Pシュートで51-51と食らいつくが、すぐさまオーストラリアU-19の#11Tippettにポストプレイ、#5Harringtonに2本のフリースローを許しタイムアップ。結局58-51と7点差をつけられ、惜敗した。

課題であるリバウンド、接触、パワーは試合を重ねる度にタフになり、チームディフェンスも機能している。ただ、シュートの決定力不足が試合の敗因であったと考える。